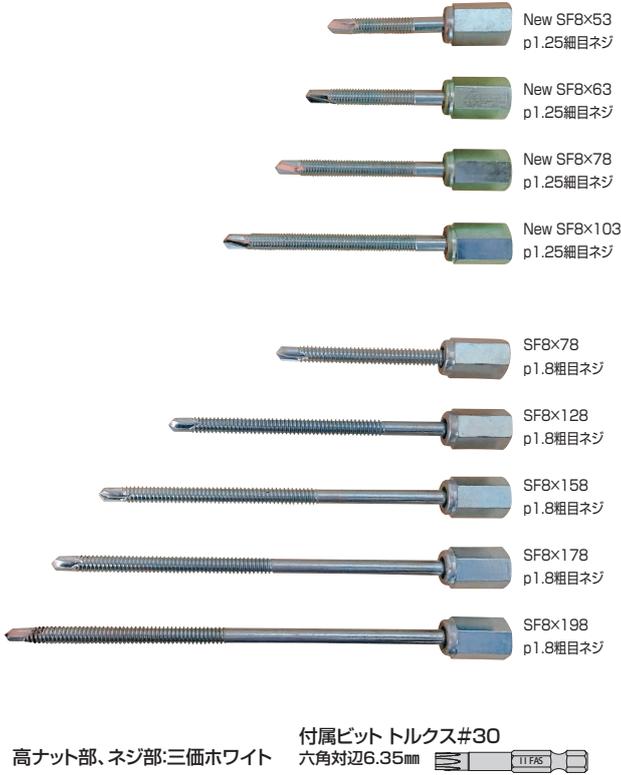


鉄骨造の新築工事向け耐力を備え、作業性に優れ省力化が図れます。

特許第2764232号
特許第6710417号
意匠登録第1643233号

ナット固定式



ユニクロメッキの製品は、順次三価ホワイトに変更します。

品番	適応最小・最大壁厚 (mm)	鉄下地厚 (mm)	d×L (mm)	L1 (mm)	L2 (mm)	ケース入数	商品コード JANコード
New SF8×53 p1.25細目ネジ	12・36	1.6~3.2	8.0×52	24	16	400(50本×8)	000180 4582537314622
New SF8×63 p1.25細目ネジ	12・46	1.6~3.2	8.0×62	34	16	400(50本×8)	000182 4582537314646
New SF8×78 p1.25細目ネジ	12・61	1.6~3.2	8.0×77	49	16	240(30本×8)	000184 4582537314660
New SF8×103 p1.25細目ネジ	12・86	1.6~3.2	8.0×102	74	16	240(30本×8)	000186 4582537314684
SF8×78 p1.8粗目ネジ	・59	2.3~4.5	8.0×77	59	18	240(30本×8)	000188 4582537314707
SF8×128 p1.8粗目ネジ	27・109	2.3~6.5	8.0×127	82	18	240(30本×8)	000190 4582537314721
SF8×158 p1.8粗目ネジ	57・139	2.3~6.5	8.0×157	82	18	180(30本×6)	000192 4582537314745
SF8×178 p1.8粗目ネジ	77・159	2.3~6.5	8.0×177	82	18	180(30本×6)	000194 4582537314769
SF8×198 p1.8粗目ネジ	97・179	2.3~6.5	8.0×197	82	18	180(30本×6)	000196 4582537314783

(注) 適応壁厚=壁材厚mm+下地間の隙間mm (注) New SFは半ネジ、SFはL寸法128以上は半ネジ

■最大引張強度 N(kgf) t=下地厚(mm)

New SF8×53, 63, 78, 103		SF8×78		SF8×128, 158, 178, 198	
一般構造用軽量形鋼リップ溝形鋼 75×45×15 1.6t	5,000N(510kgf)	一般構造用軽量形鋼リップ溝形鋼 60×30×10 2.3t	5,864N(598kgf)	一般構造用軽量形鋼リップ溝形鋼 60×30×10 2.3t	5,864N(598kgf)
一般構造用角形鋼管 100×100 2.3t	8,300N(846kgf)	一般構造用軽量形鋼リップ溝形鋼 100×50×20 3.2t	8,414N(858kgf)	一般構造用軽量形鋼リップ溝形鋼 100×50×20 3.2t	8,414N(858kgf)
一般構造用軽量形鋼リップ溝形鋼 100×50×20 3.2t	13,200N(1,346kgf)	熱間圧延形鋼等辺山形鋼 40×40 4.5t	14,386N(1,467kgf)	熱間圧延形鋼等辺山形鋼 40×40 4.5t	14,386N(1,467kgf)
		熱間圧延形鋼等辺山形鋼 50×50 6.0t		熱間圧延形鋼等辺山形鋼 50×50 6.0t	19,613N(2,000kgf)

高ナットカーリングカシメ部は最大引張強度19,613N(2,000kgf)

- (社)仮設工業会編の足場工事マニュアルに準じて、十分な安全率を考慮して下さい。
- 許容荷重=最大引張強度÷安全率(法令の定め・施工現場の環境を考慮し安全率は2.0以上を目安にして下さい)
- 外壁材とアシバツナギのナット部は、過剰な締め付けによるトラブルを防ぐため僅かな隙間を設けて締結して下さい。
- 引張強度=圧縮強度ですが、極力曲げ方向の荷重負担のない状態で壁つなぎの接続をして下さい。
- 推奨工具は回転専用スクルードライバーです、14.4V以上の機種で毎分1,300~1,700回転で締結して下さい。
- 推奨工具以外のインパクトレンチ・インパクトドライバーでは、適正な穴加工・ネジ加工が行えず強度の保証は致しかねます。
- 鉄下地が厚い場合でネジ加工がスムーズに行えない場合は、回転を下げてトルク調整をして締結して下さい。
- 付属の専用ビットを必ず使用して下さい。
- 専用ビット及び推奨工具以外での使用では、ネジ頭のリセス及びビットの破損を招き施工トラブルが生じます。
- 木下地の場合木質、部位、樹齢、水分含有率、ねじ込み深さにより強度が異なりますので配慮して使用して下さい。
- アシバツナギの締結は、下地に対し直角に施工して下さい。
- 壁つなぎの雄ネジ部に傷や錆び等のままで、接続しないで下さい。
- 推奨工具を使用せず下穴を別工具で穴あけ加工しての締結では、記載の最大引張強度は得られません。
- 製品は改良の為、予告なく変更することがありますのでご了承下さい。

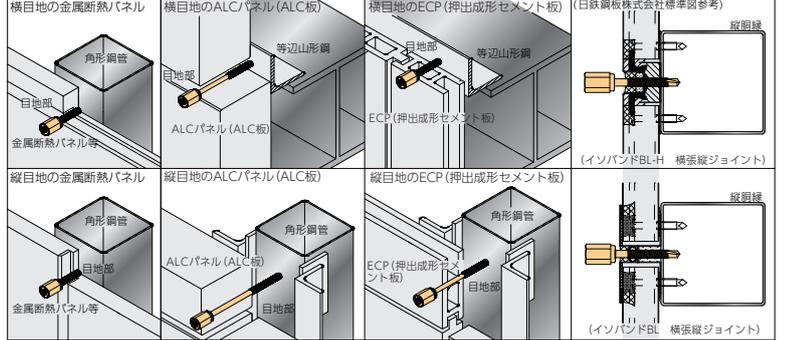
2021-05

メモ欄



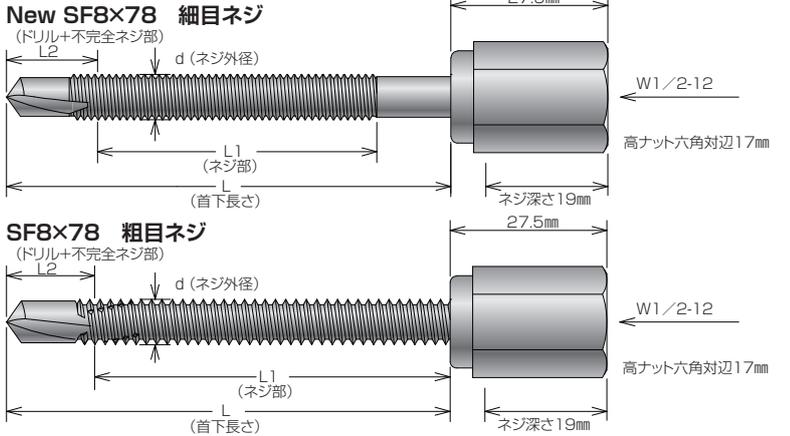
北海道北広島市大曲工業団地1丁目2番地6 <https://www.iifas.jp>
TEL(011)377-8481 FAX(011)377-8592 Email: sales@iifas.jp

■施工例 金属断熱サンドイッチパネル用、鉄骨造用(リップ溝形鋼 等辺山形鋼 角形鋼管)



Newタイプは、外壁施工時に使用したネジを取り外しての改修工事にも最適です。
△外壁材及び締結材の間にネジが立つ別の建材がある場合(雌ネジが形成)締結材にはねじ込みが出来ません、先に外壁材等に(締結材は除く)8.5mmの穿孔をして下さい。

■寸法図(縮尺3/4)



Newタイプは、鉄下地1.6~3.2mmに対応し開発した高強度を誇るドリルネジです。